



公益財団法人茨城県スポーツ協会  
会長 大井川 和彦



平素より、本協会の諸事業の推進に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、パリオリンピックが開催され、本県ゆかりの選手としては、フェンシングの永野雄大選手、柔道の永瀬貴規選手、レスリングの樋口黎選手が見事金メダルに輝くなど、日本中に感動と挑戦する勇気を与えてくれました。

このような中、国民体育大会が第78回大会より「国民スポーツ大会」に改称され、本大会が佐賀県において開催されました。本県選手団は、卓球競技の成年女子が7年ぶりの優勝、水泳競技では成年男子の高飛込、少年女子の高飛込と飛板飛込の優勝をはじめとして、24競技76種目で入賞を果たすなど、多くの選手が躍動いたしました。

これらの結果は、次世代を担う選手の発掘・育成に重点を置いた「世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業」を展開している本協会といたしましても、誠に喜ばしいことでもあります。今後も各競技団体との連携をさらに強化し、本県の競技力向上にむけて邁進してまいりますので、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、生涯スポーツの推進にあたっては、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの活動の活性化を図るだけでなく、指定管理者として本協会が管理運営する堀原運動公園や笠松運動公園の有効活用と利用促進、各種スポーツ大会やスポーツ教室の開催などを通して、県民の誰もが継続的にスポーツに楽しみ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを満喫することができるよう努めてまいります。

一方、子供たちを取り巻くスポーツ環境は大きな変革期を迎えており、子供たちが継続的にスポーツに親しむ機会を確保していくため、部活動地域移行を含めた地域におけるスポーツクラブ活動などの環境整備を図っていくことが重要になっております。本協会といたしましても、引き続き、市町村スポーツ協会や各競技団体の皆様と連携し、地域を基盤としたスポーツ環境の整備を図るとともに、スポーツクラブ活動の活性化に努めてまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、関係各位の益々のご活躍とご健勝を祈念いたしますとともに、本協会へのさらなるご支援・ご協力をお願い申し上げ、巻頭のことばといたします。

# 世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業 ～ジュニアアスリート発掘・育成プログラム～

## 1. 目的

運動能力に優れた素質を持つ人材をジュニア世代から発掘し、県内競技団体と連携を図りながら、発達段階に応じた適切な育成プログラムを計画的・継続的に実施することにより、全国大会での活躍、そして将来オリンピックをはじめとする国際大会で活躍できるアスリートを輩出する。

## 2. 対象者・育成期間

対象者	3期生・4期生（表中の数字は人数を表す）			2024年育成選手（表中の数字は人数を表す）	
	県内学校に在籍の小学4年生を対象に、5競技で募集する。選考会の結果により5競技合計で30名程度を選考する。			県内の小学6年生～中学3年生を対象に、新たな4競技が選考し育成をする。	
	競 技	3期生	4期生	競 技	
	サッカー	12	0	バスケットボール	79
	バスケットボール	5	6	バドミントン	21
	バドミントン	5	8	スポーツクライミング	4
	ゴルフ	8	9	陸上	28
	スポーツクライミング	8	12	合 計	132
	合 計	38	35		
育成期間	小学校4年～小学校6年までの3年間			1年間（継続選考可能）	

## 3. プログラム内容

### ○ジュニアアスリート育成プログラム

#### 【3・4期生共通】

- ・選考した児童（育成選手）に対し、県内プロチームや大学及び各種団体等と連携したトレーニング方法や栄養学講座などの育成プログラムを実施。アスリートを目指すための知識や技術等の習得を図る。

プログラム	内 容
発達段階開発プログラム	○身体能力プログラム（基礎的運動能力の向上） ○知的能力プログラム（コミュニケーション能力等） ○交流プログラム（トップアスリートとの交流等） ○食育プログラム（栄養指導等）
スポーツ医・科学プログラム	○スポーツ障害・水分補給・熱中症対策 ○メンタルトレーニング
保護者サポートプログラム	○子どもを支えるために必要なスポーツ関連知識 ・スポーツ栄養 ・ジュニア期のスポーツ障害、予防等 ・保護者面談

- ・ジュニアアスリートが自分で選んだ競技を3年間継続して競技力を高めていく。主に県内競技団体が指導する。

#### 【2024年育成選手】

- ・各競技で、体力・運動能力が優れている選手を強化選手として選考し、各競技の拠点場所において専門的な指導を月1～2回競技プログラムを実施する。※毎年選考を実施
- ・各競技の意向で、上記のような育成プログラムを実施する。

## 4. プログラム計画

3期生：年9回実施【県開催プログラム】、各競技のプログラム月1～3回実施

4期生：年8回実施【県開催プログラム】、各競技のプログラム月1～3回実施

2024年育成選手：年2～4回実施【各競技の希望に従い県開催】、各競技のプログラム月1～2回実施